

研究概要

1. 研究題目

「教育体制充実のための看護系大学院における教育者養成に関する調査研究」

2. 研究目的

看護系大学博士後期課程を設置している大学の博士前期・後期課程における教育力育成に関わる教育内容と展開方法、教育体制の実態および課題を明らかにすることを目的とする。

3. 研究方法

- 1) 調査方法：自記式無記名式質問紙調査法
- 2) 調査期間：2013年11月（研究倫理審査承認後）～2013年12月
- 3) 調査対象：日本看護系大学協議会会員校で看護系大学院の博士後期課程を設置している（72校）の研究科責任者と、大学院教育に携わっている看護教員3名
- 4) 調査内容：**研究科責任者**を対象とした調査内容は、大学院の設置状況、大学院生の状況、教育理念・目的、TA制度、大学院教育の内容、臨床との連携等を含んだ項目で構成している。また、**大学院教育に携わっている看護教員**を対象とした調査内容は、大学院の設置状況や大学院生の状況、教員の担当授業科目、平成24年度の調査結果をもとに大学院生の教育力の育成を意図して行っている授業の内容や方法などを含んだ項目で構成している。（詳細は調査票をご参照ください）
- 5) 調査票回収方法：記入の済んだ質問紙は、記入者が専用の返信封筒に入れ、厳封の上、郵送による返信をもって回収する。

4. 分析方法

量的データについては、記述的統計解析を行い、要約統計量を求める。記述回答については、内容分析を行い、カテゴリーに分類したのち、統合し要約する。

5. 依頼内容

- 1) 本調査にご協力くださる場合は、研究科責任者用の調査票へのご回答をお願いします。
 - 2) 大学院教育に携わっている看護教員3名を選び、調査票の配付をお願いします。配布者の選定基準は次の①および②を満たす方です：
 - ① 看護学系研究科で修士課程と博士後期課程の授業の両方を担当している看護教員
 - ② 貴学の看護学系研究科を代表する分野を担当する教員、または、必修科目を担当する看護教員
- 尚、調査票の配付に際しまして、ご本人の自由意思によりご回答くださるようお願いいたします。

6. 調査における倫理的配慮

- ①本調査票へのご回答および返信は、該当する回答者の自由意思によるものです。また、

本調査に協力しないことによって不利益を被ることは一切ありません。

- ②調査票への回答記入には約30分の時間を要します。
 - ③本調査のデータは、看護系大学における教育体制の充実のために役立ちます。
 - ④本調査は無記名で行い、施設を特定できる情報を含みません。記述内容について、個人が特定されないように配慮いたします。
 - ⑤調査から得られたデータおよび結果は、本研究の目的以外に使用することはありません。調査票の管理およびデータ管理は施設可能な場所に厳重に保管し、研究報告終了後に復元不可能な状態に処理します。
 - ⑥研究結果は、文部科学省への報告書および日本看護系大学協議会等で公表する予定です。
- 尚、この研究は、聖路加看護大学研究倫理審査委員会の承認を受けています。

聖路加看護大学研究倫理審査承認番号：13-(簡)-008

7. 連絡先

プロジェクト担当代表：松谷 美和子（聖路加看護大学）

TEL&FAX：03-5550-2275（直通）

本調査の締め切りは2013年12月1日（日）と致します。

ご協力をよろしくお願い申し上げます